

週報

こひつじ

第39巻 33号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

ほんとうの自由とは

その三 外側の自由を奪われて

与えられた自由を正しく使うには内的力が必要だと言った。では、どうしたらそれは得られるのか。

まずは規則正しい生活を始めることである。

カントは偉大な哲学者で、豊かな精神的世界を所有していた人だったが、日々の生活は、単純で、規則正しかった。彼は同じ時間に起き、同じ時間に寝て、同じ時間に散歩した。町の大時計はときどき止まってあてにならないけれど、町の人びとはカントが家の前を通るのを見て、自分の時計の針を合わせたものだった。

ヒルティもまた規則正しい生活

の必要を説き、軍隊生活の意義を高く評価した。軍隊生活では、日々、なすべきことが決まっている。持

つべき物はわずかで、常に与えられたもので生活する。その単純な

生活が、彼らを心の空白から救うのだという。

このように自由とは、矛盾するようだが、自分を拘束することから始まる。

外側の自由を奪われて人は内側の開発に向かうだろう。それが外側を支配する力となるのである。

だからパウロは言う。「私はだれに対しても自由ですが、すべての人の奴隷となりました」

(一コリント九の一九)

私は五年近く、宣教師のもとで訓練を受けたが、そこで学んだ第一のことは、自由の制限だった。

私は高校生になると家を出て寮生活を始めた。就職してからも寮生活が続いた。したがって、早くから家族と別れた私に、行動の制限を加える人はいなかった。

やがて宣教師との生活が始まった。月曜日は休みと聞いていたので、出かけようとする時、どこへゆくのかと問われ、私は戸惑った。

そういう言葉を長く聞いていなかったからだ。とても窮屈に思えた。しかし今考えると、その窮屈さが、私にとって一番の訓練だったのである。

宣教師が去ったあと、大津に残る決心をしたときも、同じように感じた。

若かったその頃の私にはまだ夢があった。もつとどこかで学びたい。できれば留学もしたいと。

ところが、その希望が失われたのである。私は狭い世界に閉じこめられたような気がした。

しかし、外側からのその遮断が、私を内側の開発へと向かわせてく

れた。

横に拡張しようとするといつも競争がある。衝突がある。また他人の成功をうらやんだり妬んだりする。だが、縦の拡張はそれらと無縁だ。縦には無限の広がりがある。上には大空があり、下にはいくらでも深く掘ることのできる自分の心がある。こうして神は、私を、横ではなく、縦に拡張するのである。

人がほんとうの自由を得るのは、このように外側の世界が狭められたときだとと言えるだろう。

アンネがそうだった。彼女は狭い世界に閉じ込められ、その生涯は余りに短いものだった。しかし彼女の心の世界は広く、自由だった。今も多くの人に感動を与えている『アンネの日記』が、何よりもその証拠ではないか。

伝道者パウロも、繰り返し牢獄に投げ込まれた。しかし、今日、われわれを教え、励ます彼の書簡の多くはそこで書かれたものなのだ。そのほかジョン・バンヤンの不朽の名作『天路歷程』も牢獄で

書かれた。世界最高の叙事詩と言われる『楽園喪失』は、作者であるミルトンが失明し、いつさいの活動を奪われたときに書かれたものだった。

こうして多くの人が、外側の自由を奪われて内側の自由を獲得した。その自由こそは、

「もし子があなたがたを自由にするならば、あなたがたはほんとうに自由なのです」(ヨハネ八の三六)と聖書が言っている自由なのではないだろうか。(終)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、第二礼拝は午前11時から。

○教会学校は午前10時からこひつじ館で。

○説教は米村牧師。

先週の礼拝

○司会は岩崎宏志さん、奏楽は吉岡裕美さん。

○特別賛美は、大津少年少女合唱団の卒団生で、現在平成音楽大

学で学んでいる河津周(あまね)さんが「いちわのすずめ」(勝利の歌I七〇番)を賛美してくださいました。

○説教は申命記の言葉から。長い荒野の生活を終え、いよいよ約束の地に入ろうとしているときです。神は、一つのことを念を押すようにイスラエルの民に言われました。

消 息

○次週の礼拝には、米村牧師の長男耕一さん家族(東京在住)が来会予定です。

○お年を召した方のためにお祈り下さい。甲木銀子さん、松村二美代さん、伊藤厚子さん。星子弥生さん。

牧師身辺

神の恩恵によりました。私たちはクリスチャンになったのも同じです。決して私たちが正しかったからではありません。一方的な神の働きかけによったのです。

それは何を意味するでしょうか。救いは、私たちの道徳とは無関係で、徹底して神の恩恵によるものだと語りました。

米村さん 毎週送られてくる週報とYouTubeの配信で、熊本にいるときよりいっそう大津教会を身近に

先週の出席

感じています。スタッフの皆さんにはほんとうに感謝です。さて先日の日曜日に福島第一聖書バプテスト教会小高チャペルに行ってきました。私の家から車で一五分です。建物はこじんまりとしていましたが、とてもすてきな教会でした。参加者は私を入れて一〇名程度。たぶん私よりも年上の方ばかりではないでしょうか。でも人数にしては賛美がにぎやかでした。賛美もメッセージの内容も大津教会と雰囲気似ているのでちよつと安心しました。

また最近まで閉鎖されていた福島第一聖書バプテスト教会大野チャペル(大熊町、福島第一原発がある町で、私の家から車で三〇(四〇分)では、第四日曜に礼拝があるらしいので、そちらにも行ってみようと思っています。そこでは佐藤彰牧師が来て、メッセージをされるとのことです。(和成)

米村さん 毎週送られてくる週報とYouTubeの配信で、熊本にいるときよりいっそう大津教会を身近に

牧師のメールアドレス。 yonemura@ja2.so-net.ne.jp